



平成30年6月14日

MFJ公認競技主催者およびエントラント 各位

一般財団法人

日本モーターサイクルスポーツ協会
技術委員会

JP250クラス技術仕様の規則解釈について

2018年度 国内競技規則書 JP250クラス技術仕様の該当規則を以下の解釈とする。

JP250クラスの技術仕様

1. JP250技術仕様・7-3-29 エアクリーナー／7-3-29-2 ラムダクト（ラム圧）付き車両（CBR250RR）のエアフィルター・エレメントの解釈について

該当規則 7-3-29-1 ラムダクト（ラム圧）付きの車両

7-3-29-2-1

エアクリーナーボックス、ラムダクトおよび吸気ダクト、エアファンネルをMFJが公認した車両の状態に維持しなければならない、変更または改造は許可されない。

エアフィルター・エレメントは変更または改造、あるいは取り外すことができる。

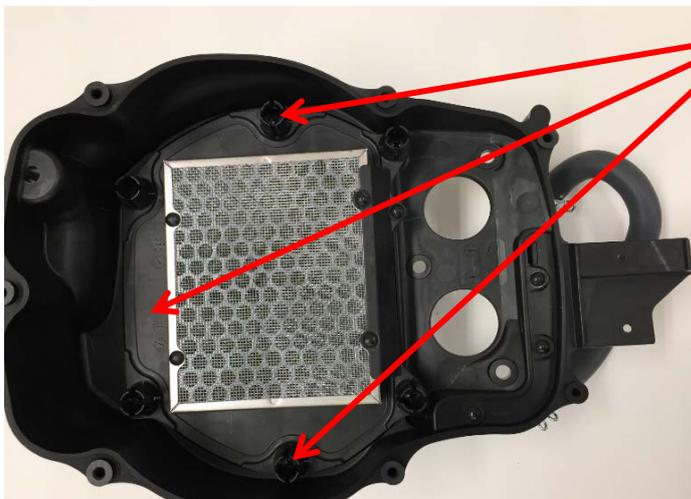
フェアリングの変更は認められるが、エアダクト取り入れ口の位置、形状、面積はMFJが公認した車両の状態を維持しなければならない。

目的：

CBR250RRに装備されるエアフィルター・エレメントはエレメント部分とエレメントホルダーの一部が一体成型された構造となっている為、変更また改造、取り外し可能な範囲を明確にする。

解釈：

「エレメントCOMP. エアクリーナー（部品番号17210-K64-N00）をエアフィルター・エレメントと見なし部品での変更又は改造、取り外しを認める。」



エレメントCOMP部品全体を変更又は改造、取り外すことができる。

※COMPとは、エレメント本体および枠（エレメントを止めるビスおよびビスホルダーを含む）を含めた全体を示す。